

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		20 文化芸術の振興
目的	対象	市民
	意図	文化芸術にふれる機会が提供され、文化芸術活動が活発になる
施策の方向		地域の有形・無形の文化的資源がまちづくりに生かされ、まちへの愛着が深められるとともに、誰もが多彩な文化芸術活動を楽しみ、身近に質の高い文化芸術に触れる機会を通じて、豊かな心を涵養し、創造性を育むまちを目指します。

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察 (Check・Action)
「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、誰もが、音楽・演劇をはじめ、映画・美術・伝統芸能・スポーツなど、様々な活動を楽しむことができるよう、多様な主体との連携の下、様々な文化芸術に係る取組を展開しており、文化芸術に触れ、参加し、その創造に携われる機会の創出につながっている。 （公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、福祉作業所等連絡会をはじめ、特例子会社等の参加団体とともに、「パラハートちようふ meets ART」の一環であるパラアート展を開催し、障害者の文化芸術活動の充実につなげることができた。引き続き、多様な主体と連携した取組により、文化芸術振興における共生社会の推進に取り組んでいく。 文化施設3館の指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、公共建築物維持保全計画に基づく施設の計画的な維持管理に取り組んでおり、利用者が安全・安心に施設を利用できることにつながっている。引き続き、安全で利便性の高い施設運営を進めていく。また、災害時における協力協定に基づき、フェーズフリーの視点を踏まえ、災害時における文化施設の避難所開設訓練を継続的に実施する。 新たなグリーンホールの整備に向けた市民参加を実践するとともに、民間活力の活用による施設整備に向け、多彩な文化芸術を創造するホールを核とした、まちの魅力を高める複合施設の整備に向けて、専門家等からの意見を生かすため専門家検討会議を実施した。今後も、市民や専門家の意見を踏まえながら検討を進めていく。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
1年間で文化芸術を鑑賞、または自ら文化芸術活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	%	42.5 令和4年度	51.4	46.8	65.0 令和8年度	▼	・文化施設3館のスケールメリットを生かした連携により、ホームページや財団報「ぱれっと」による一体的な広報活動等を通じた市内文化施設の認知度向上につながっている。 ・事業展開や施設管理において、市民の多様化するライフスタイルに合わせた柔軟な運営に取り組む。
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系）	%	(ホール系) 75.3 (会議室系) 71.5 令和3年度	(ホール系) 83.3 (会議室系) 67.6	(ホール系) 84.9 (会議室系) 67.5	(ホール系) 90.0 (会議室系) 85.0 令和8年度	○	・ホール系の利用率は前年度と比べて高いが、会議室系の利用率は茶室や暗室等の利用率が低い貸出施設があるため、全体の利用率が低下する傾向にある。 ・利用率の低い貸出施設について、利用用途等の周知を図ることで利用率を高めていく必要がある。

※ ○：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） —：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■20-1 市民の文化芸術活動の促進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
66	【重点④】 文化芸術事業の実施	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・文化会館たづくり指定管理事業 ・グリーンホール指定管理事業 ・せんがわ劇場指定管理事業 ・財団自主事業 ・文化芸術活動を通じた共生社会の充実 ・パラアート展の開催 ・「調布市文化芸術推進ビジョン」の策定	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・文化会館たづくり指定管理事業 ・グリーンホール指定管理事業 ・せんがわ劇場指定管理事業 ・財団自主事業 ・文化芸術活動を通じた共生社会の充実 ・パラアート展の開催 ・「調布市文化芸術推進ビジョン」に基づく各施策の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理 ②協定を締結する劇団芸優座及び東京室内歌劇場との共催事業を通じた市民無料招待による文化芸術の鑑賞機会の充実	①文化施設の適切な維持管理に努めながら、文化芸術活動の場の充実に向けた環境整備に取り組む。 ②(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により開催している「調布国際音楽祭」や「映画のまち調布 シネマフェスティバル」、「ちょうふ彩咲祭」等を通じて、多彩な文化芸術を鑑賞する機会や活動の機会を創出する。 ③鉄道敷地跡地に整備した文化発信ゾーンについて、音楽遊具の維持管理など、市民が文化芸術に触れ、楽しむことができる環境を整備する。 ④令和8年4月までに完成する調布駅前広場について、文化施設の拠点であるグリーンホールと連動した利活用が可能となるよう手続を整備する。 ⑤調布市若者の文化芸術活動及びスポーツ活動の応援に関する条例を踏まえ、若者の文化芸術活動に関する情報発信や環境整備等を推進する。

■20-2 文化芸術施設の整備・運営

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
67	文化芸術施設の維持保全・改修	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	○文化会館たづくり ・設備更新型ESCO事業 ・11階生涯学習情報コーナー個別空調設置工事 ・3段式機械駐車場吊チェーン・スプロケット更新 ・エントランス点字ブロック設計委託・改修 ・フロアレイアウト検討 ○グリーンホール ・受変電設備配線修繕 ・グリーンホール整備に向けた取組 ○せんがわ劇場 ・3階ホール廊下個別空調設置工事	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	○文化会館たづくり ・設備更新型ESCO事業 ・屋上外壁防水改修設計 ・防火シャッター危害防止設置 ・監視用無停電電源設備蓄電池更新 ・フロアレイアウト設計委託 ○グリーンホール ・大ホールマニラロープ更新 ・グリーンホール整備に向けた取組 ○せんがわ劇場 ・エレベーター耐震対策 ・主幹調光器盤改修工事

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①アクセシビリティを向上するため、文化会館たづくり館内に音声案内装置を設置(1階入口、トイレ) ②環境配慮の観点から、文化会館たづくり地下駐車場E.V.(庁用車)充電設備設置工事を実施 ③施設利用者の安全性を向上するため、文化会館たづくり館内にAEDを増設(くすのきホール前、7階廊下) ④施設利用者の快適性を維持するため、グリーンホール空調フィルター交換を実施	①②③④施設利用者の利便性・安全性の向上のため、必要に応じた修繕等を実施

4 施策の推進、成果向上の視点(4つの視点)を踏まえた令和6年度の取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・国の「文化芸術推進基本計画(第2期)」における7つの重点取組の1つに位置付けられた「デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進」を踏まえた取組(文化芸術のデジタル・アーカイブ化の促進、デジタル技術を用いた文化財の保存・活用)を検討する。【令和7年度以降】 ・文化財の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル保存や映像配信などの多様な鑑賞機会の提供に取り組むとともに、メディアアートの更なる振興など、デジタル技術を活用した事業展開を検討・推進する。【令和7年度以降】 ・権利保護と利用の円滑化を踏まえた事業の推進について検討する。【令和6年度・7年度以降】	・映画・映像関連企業の集積を生かし、関連企業や団体、シネマコンプレックス等と連携した「映画のまち調布 シネマフェスティバル」のほか、世界的に活躍するアーティストを数多く輩出している桐朋学園やバツハ・コレギウム・ジャパンを中核に据えた「調布国際音楽祭」、市民の文化芸術・学習活動の発表の場である「調布市民文化祭」など、市民が文化芸術に触れる機会の確保に取り組む。【令和6年度・7年度以降】 ・市内文化施設3館の指定管理者として施設の管理運営を担い、安心・安全で快適な施設利用サービスと市民ニーズに応じた事業を行う(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、更なる文化芸術の振興に取り組む。【令和6年度・7年度以降】 ・名誉市民である水木しげる氏や、つげ義春氏の漫画家に加え、熊井啓氏や木村威夫氏などの映画人や、安部公房や大岡信などの作家のほか、関野準一郎氏や中川平一氏などの画家など、調布ゆかりの文化人の魅力や功績を効果的に発信する。【令和6年度・7年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・令和3年度に着工した文化会館たづくり設備更新型ESCO事業(令和5年6月事業完了)により、環境に配慮した施設運営に取り組む。【令和6年度・7年度以降】 ・文化施設3館における再生可能エネルギー電力の導入【令和6年度】	・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団と締結した災害時協力協定に基づき、避難所開設訓練を継続的に実施するとともに、災害時の施設使用等についてフェーズフリーの視点を踏まえ、必要な対応を整理する。【令和6年度・7年度以降】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・多様な主体との連携のもと、誰もが、一人一人の興味や関心、生活スタイルに応じて、それぞれの可能性が最大限引き出されるよう、文化芸術を鑑賞し、参加・体験し、創造ができる環境づくりに取り組むとともに、その成果をまちづくりに生かせるよう取り組む中で、身近なまちの生活において文化を感じられる街になることを目指し、令和7年3月に策定した調布市文化芸術推進ビジョンに位置付けた5つの施策を推進する。

・引き続き、文化会館たづくりをはじめとする各文化施設のバリアフリー化を推進し、施設利用の利便性や安全性の向上を促進する。

・文化芸術活動を未来へ継承し、多世代の交流の機会を増やし、共生社会の充実及び魅力ある地域社会を継続し発展させるため、次代を担う若者の意見を反映する仕組みや活動場所の充実等の環境を整備していく。

・新たなグリーンホールの整備に関して、市民の文化芸術の拠点となるホール機能を核として、調布駅前広場に隣接した立地を最大限に生かしながら、調布のまちの魅力を高める複合施設とすることを目指し、ホール機能や新たな複合施設に期待する機能について、市民参加手続の実践を重ねながら検討していく。